

# 2026年3月期 第1四半期決算概要



日進工具株式会社

2025年7月31日  
(証券コード6157)

# 目次

## 2026年3月期1Qの業績

P. 3	・・・	第1四半期決算の概要
P. 4	・・・	営業利益の増益要因
P. 5	・・・	損益計算書サマリー
P. 6	・・・	貸借対照表サマリー
P. 7	・・・	業績推移

## 2026年3月期の業績予想

P. 14	・・・	業績予想
P. 15	・・・	第1四半期における進捗状況
P. 16	・・・	配当予想

## 参考資料

P. 18	・・・	新製品情報
P. 20	・・・	過去5年間の業績と主要データ推移
P. 21	・・・	投資指標
P. 22	・・・	株価推移とバリュエーション
P. 23	・・・	I R 情報サイトのご案内

# 2026年3月期 第1四半期の業績



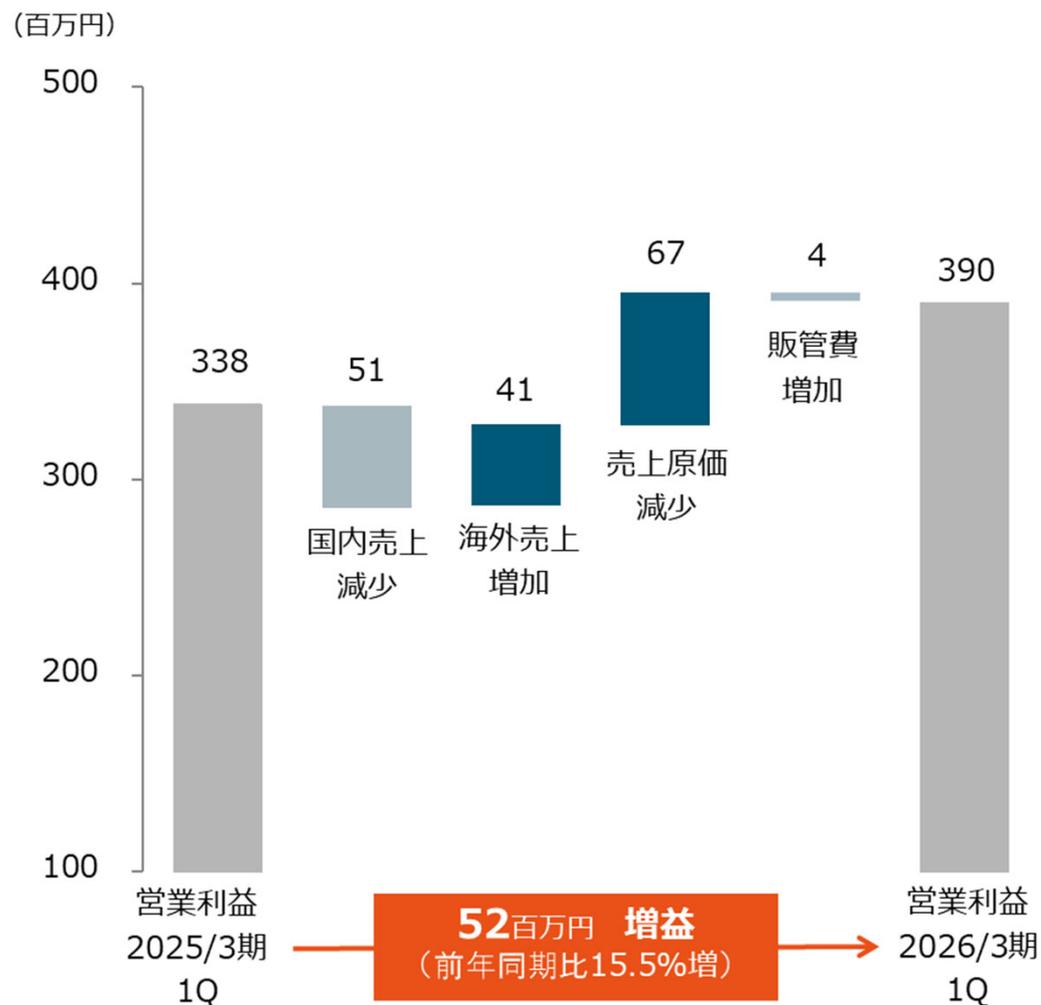
# 第1四半期決算の概要

前年同期に比べ減収・増益  
進捗率は想定より低め

(単位：百万円)	2025年3月期 1Q実績	2026年3月期 1Q実績	2026年3月期 上期予想	進捗率
<b>売上高</b> 前年同期比	2,276 +3.3%	2,266 -0.5%	4,800 +3.1%	47.2%
<b>営業利益</b> 前年同期比	338 +3.5%	390 +15.5%	920 +13.2%	42.5%
<b>経常利益</b> 前年同期比	339 +2.2%	399 +17.7%	920 +12.9%	43.4%
<b>四半期純利益</b> 前年同期比	220 +10.7%	262 +18.8%	620 +9.0%	42.3%

- 国内では、半導体や電子部品・デバイス関連が、主にAI関連やデータセンター向け需要に牽引され堅調に推移したものの、自動車関連は、米国関税の先行きが不透明なことから、特に輸出向け金型関連の動きが停滞した。一方海外では、中華圏を中心にEVやスマートフォン関連の受注獲得により好調に推移した。
- 当四半期の連結売上高は2,266百万円と、前年同期比0.5%の減少となった。
- 連結経常利益は399百万円と同17.7%の増加。売上高経常利益率は17.6%と同2.7ポイント上昇。

# 営業利益の増益要因



- 売上高は国内が前年同期比51百万円、3.4%減少、海外は同41百万円、5.5%増加した。売上高全体では同10百万円、0.5%の減少となった。
- 適正な生産計画の策定と製品在庫管理を行った結果、売上原価が同67百万円、6.1%減少した。
- 販管費は同4百万円、0.6%の増加となった。人件費は増加したものの、前年同期に製品カタログの改訂費用が発生していたため販売費は同29.2%減少した。
- これらの結果、営業利益は同52百万円、15.5%増加し390百万円となり、売上高営業利益率は17.2%と2.3ポイント上昇した。

# 損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2025年3月期 1Q実績	2026年3月期 1Q実績	前年同期比 増減率
売上高	2,276	2,266	-0.5%
売上総利益 対売上高比率	1,166 51.2%	1,223 54.0%	+4.9%
販管費 対売上高比率	828 36.4%	833 36.8%	+0.6%
営業利益 対売上高比率	338 14.9%	390 17.2%	+15.5%
経常利益 対売上高比率	339 14.9%	399 17.6%	+17.7%
四半期純利益 対売上高比率	220 9.7%	262 11.6%	+18.8%
設備投資額	33	327	+867.4%
減価償却費	147	145	-1.0%
従業員数(人)	365	370	+1.4%

- 売上高は2,266百万円と前年同期比0.5%の減少。国内では米国関税の影響を受けた自動車関連で低調となった。一方で中華圏・一部アジア向けは好調に推移した。
- 売上総利益は売上原価の減少により、1,223百万円と同4.9%増加。売上総利益率は54.0%と同2.8ポイント上昇。
- 販管費は人件費等の増加等に伴い、同0.6%増加し、売上高販管費比率は36.8%と同0.4ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同15.5%増加の390百万円、売上高営業利益率は17.2%と同2.3ポイント上昇した。
- 設備投資額は、327百万円で計画通りの進捗。前期設備投資額が少なかったことから、減価償却費は同1.0%の減少となった。

# 貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2025年 3月期末	構成比	2026年 3月期1Q末	構成比	前期末比
<b>(資産の部)</b>					
I 流動資産	13,791	69.2%	13,225	67.6%	-4.1%
現金及び預金	9,868	49.5%	9,450	48.3%	-4.2%
受取手形及び売掛金	1,393	7.0%	1,318	6.7%	-5.4%
棚卸資産	2,308	11.6%	2,333	11.9%	+1.1%
II 固定資産	6,150	30.8%	6,325	32.4%	+2.9%
有形固定資産	4,842	24.3%	5,000	25.6%	+3.3%
無形固定資産	15	0.1%	27	0.1%	+74.9%
投資その他の資産	1,292	6.5%	1,297	6.6%	+0.4%
<b>資産合計</b>	<b>19,941</b>	<b>100.0%</b>	<b>19,551</b>	<b>100.0%</b>	<b>-2.0%</b>
<b>(負債の部)</b>					
I 流動負債	1,301	6.5%	1,054	5.4%	-19.0%
買掛金	213	1.1%	214	1.1%	+0.2%
II 固定負債	224	1.1%	219	1.1%	-2.2%
<b>負債合計</b>	<b>1,526</b>	<b>7.7%</b>	<b>1,274</b>	<b>6.5%</b>	<b>-16.5%</b>
<b>(純資産の部)</b>					
<b>自己資本合計</b>	<b>18,221</b>	<b>91.4%</b>	<b>18,083</b>	<b>92.5%</b>	<b>-0.8%</b>
<b>純資産合計</b>	<b>18,415</b>	<b>92.3%</b>	<b>18,277</b>	<b>93.5%</b>	<b>-0.8%</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>19,941</b>	<b>100.0%</b>	<b>19,551</b>	<b>100.0%</b>	<b>-2.0%</b>

## 流動資産

法人税等や賞与の支払により現金及び預金が減少したこと等から前期末比4.1%減少。

## 固定資産

設備投資を実施したことにより有形固定資産が増加し、同2.9%増加。

## 負債

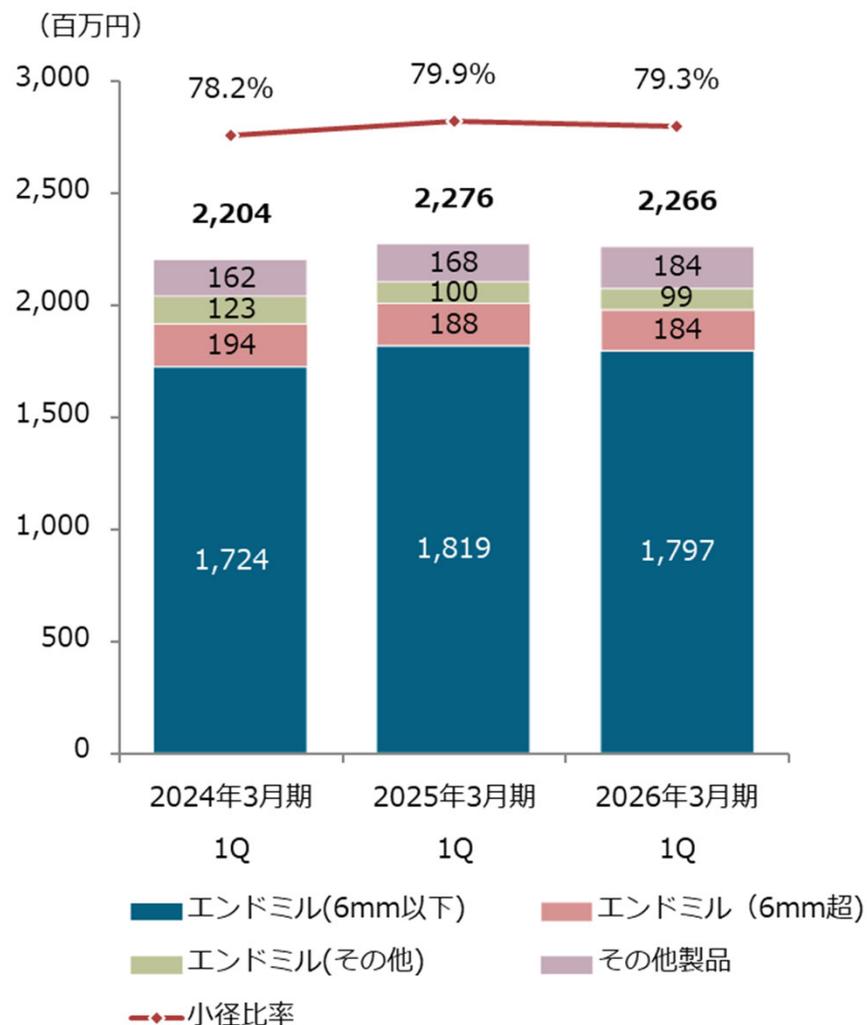
未払法人税等や賞与引当金の減少等により、同16.5%減少。

## 純資産

配当金の支払いによる利益剰余金の減少等から、同0.8%減少。負債の減少もあり自己資本比率は92.5%と同1.1ポイント上昇。

# 業績推移（売上高の推移①） 製品別

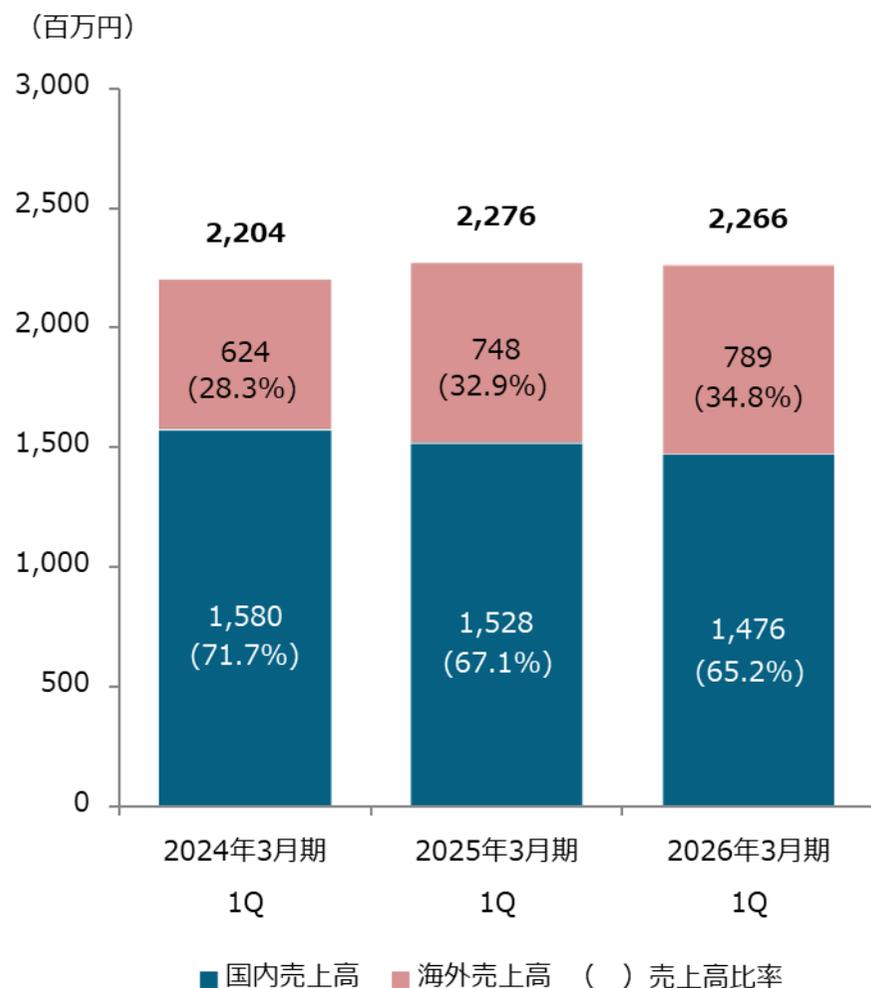
## 製品別売上高と小径比率の推移



- 製品別売上高の内訳は、エンドミル（6mm以下）が前年同期比1.2%の減少、エンドミル（6mm超）は同1.8%減少、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同1.0%減少し、工具ケース等のその他製品は同9.8%増加した。
- 売上高2,266百万円のうち、主力のエンドミル（6mm以下）の売上が1,797百万円となり、小径比率は79.3%と同0.6ポイント低下したものの高い比率を維持した。

## 業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

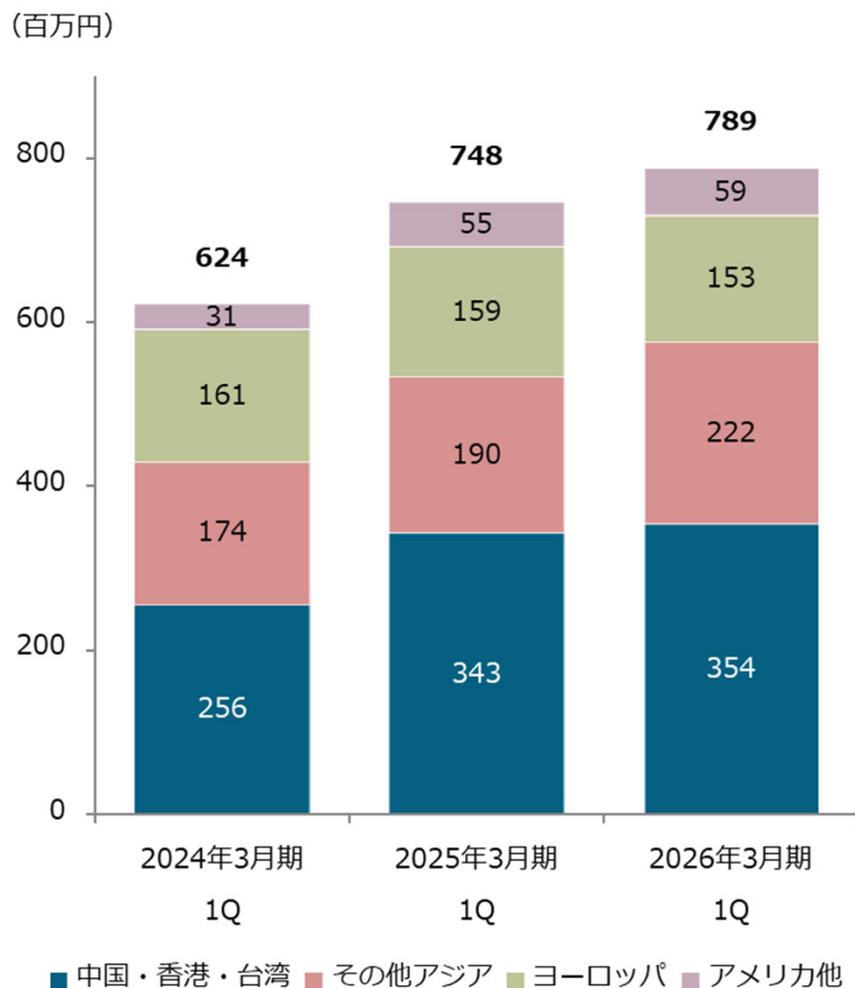
### 国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期比51百万円、3.4%減少し1,476百万円となった。海外売上高は同41百万円、5.5%増加し789百万円であった。
- 海外売上高は、中華圏とその他アジアで増加した。日進工具香港の連結にからみ、当四半期の中国向けの数字は1-3月分。
- 海外売上高の増加により海外売上高比率は前年同期比1.9ポイント上昇し34.8%となり、四半期ベースで過去最高の比率となった。

## 業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

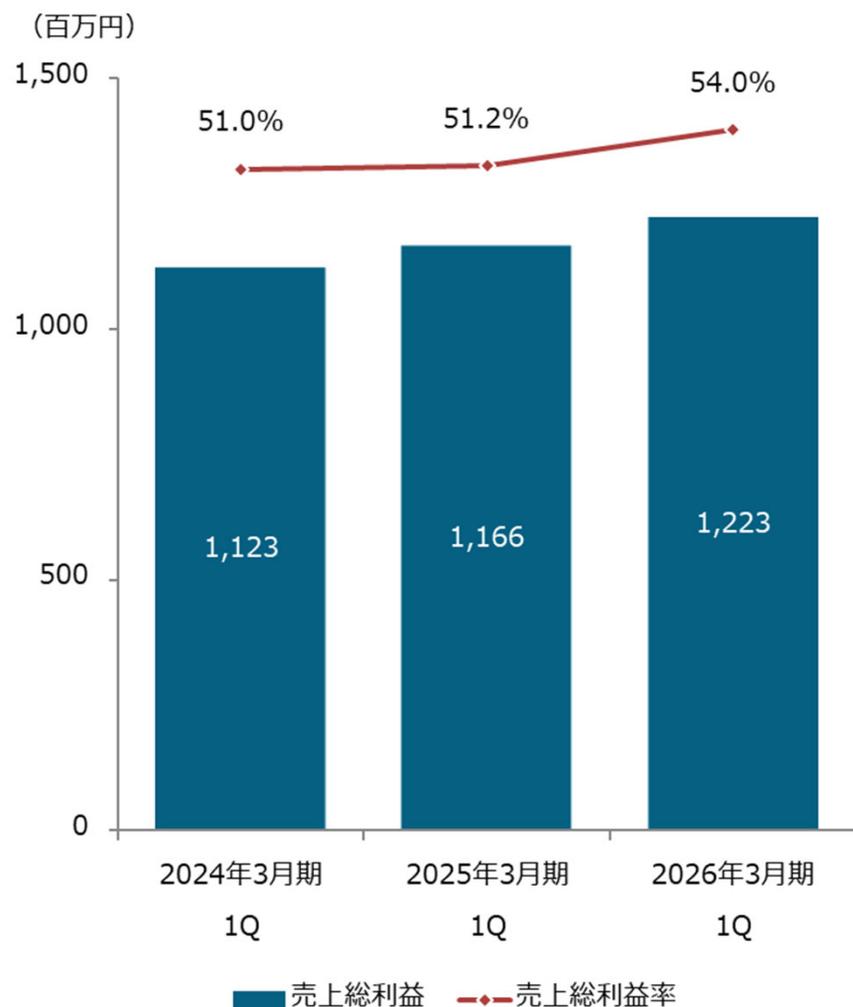
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比3.4%増加し354百万円。日進工具香港の連結にからみ当四半期の中国向けの数字は1-3月分。スマートフォン関連が好調となった。さらに、光学・EV関連での需要も継続した。市況は大きく好転していないが、受注の継続により売上は若干増加した。
- その他アジアは同16.3%増加の222百万円。タイでは新規案件により工具需要増加、また自動車関連が回復傾向となった。インドは引き続き好調に推移した。
- ヨーロッパは市況が回復せず、自動車業界は引き続き低調となっており、同4.0%減少の153百万円。
- アメリカ他は同8.6%増加の59百万円。NS TOOL USAの連結にからみアメリカ・メキシコ向けの数字は1-3月分。今後関税問題による影響が懸念される。

# 業績推移（売上総利益の推移）

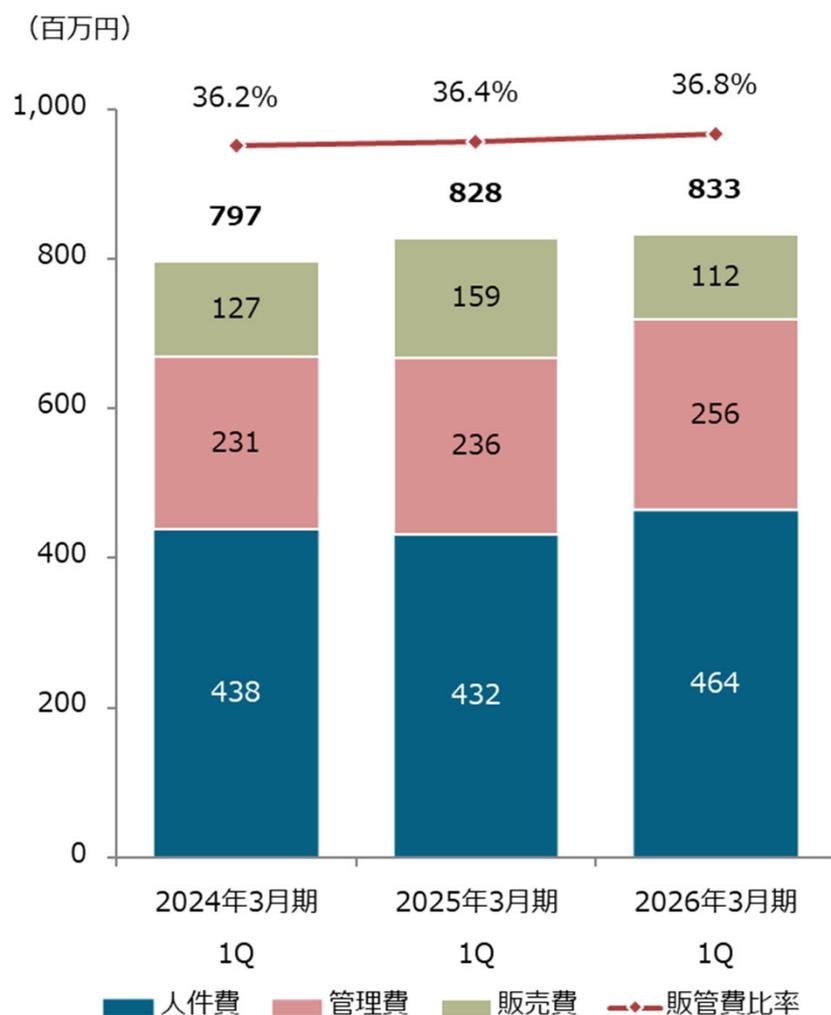
## 売上総利益と売上総利益率の推移



- 材料費は前年同期比1.8%減少、製造経費は工場消耗品費や製造減価償却費の減少により同1.5%減少した。一方で、外注加工費は価格の見直し等により同13.4%増加し、当期製品製造原価は若干増加した。
- 生産量は維持しつつ、適正な生産計画の策定と製品在庫管理を行った結果、売上原価は同6.1%減少した。
- 売上総利益は同4.9%増加し1,223百万円、売上総利益率は54.0%と同2.8ポイント上昇した。

# 業績推移（販管費の推移）

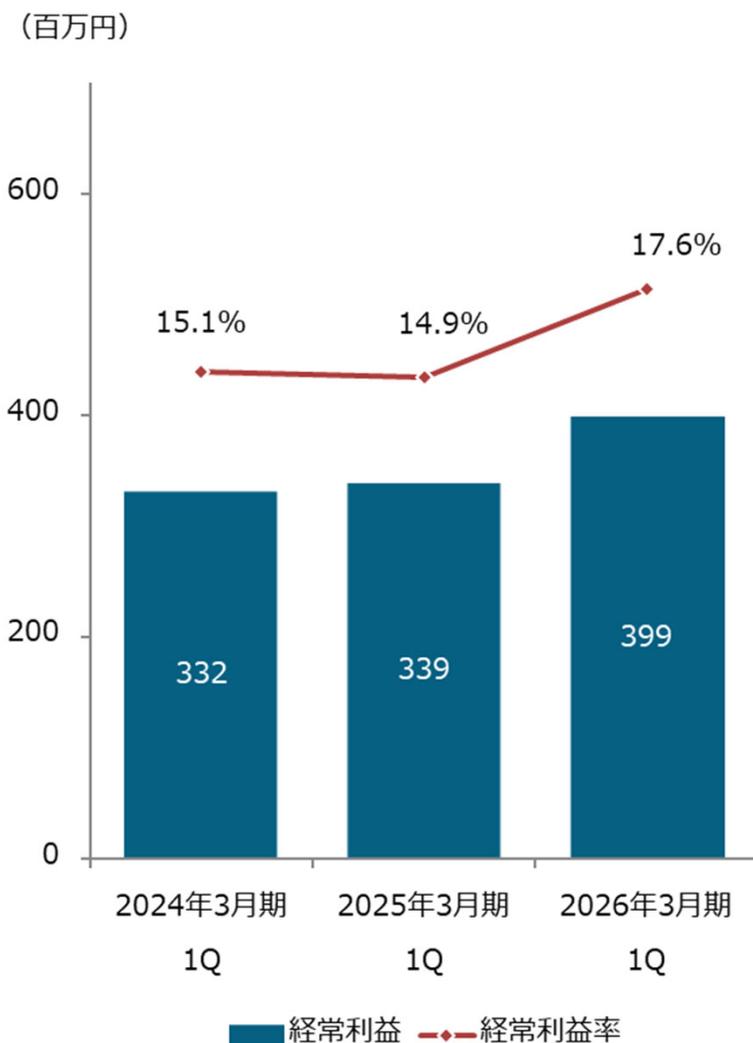
## 販管費と販管費比率の推移



- 前年同期は2回「INTERMOLD」が開催されたが、今期は1回だったため展示会費は前期より減少。また、前年同期は製品カタログ改訂費用が発生していたことから広告宣伝費も減少し、販売費は前年同期比29.2%減少の112百万円。
- 人件費は、賃上げに伴う給与の増加等により、同7.3%増加し464百万円。
- 販管費全体では同0.6%増加の833百万円となり、売上高販管費比率は36.8%と同0.4ポイント上昇した。

# 業績推移（経常利益の推移）

## 経常利益と売上高経常利益率の推移



- 減収となったが売上総利益率が改善したことにより、営業利益は前年同期比15.5%増加、390百万円となった。
- 営業外損益は、作業くず売却益や為替差益等により営業外収益が8百万円上回り、経常利益は399百万円、同17.7%の増加。
- 売上高経常利益率は17.6%と前年同期に比べ2.7ポイント上昇した。

# 2026年3月期の業績予想



# 業績予想

(単位：百万円)	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	9,431	9,680	+2.6%
営業利益	1,767	1,740	-1.5%
経常利益	1,779	1,750	-1.7%
当期純利益	1,264	1,200	-5.1%
設備投資額	111	882	+693.5%
減価償却費	644	655	+1.7%
EPS (円)	50.80	48.20	-5.1%
1株当たり配当金 (円)	30.00	30.00	—

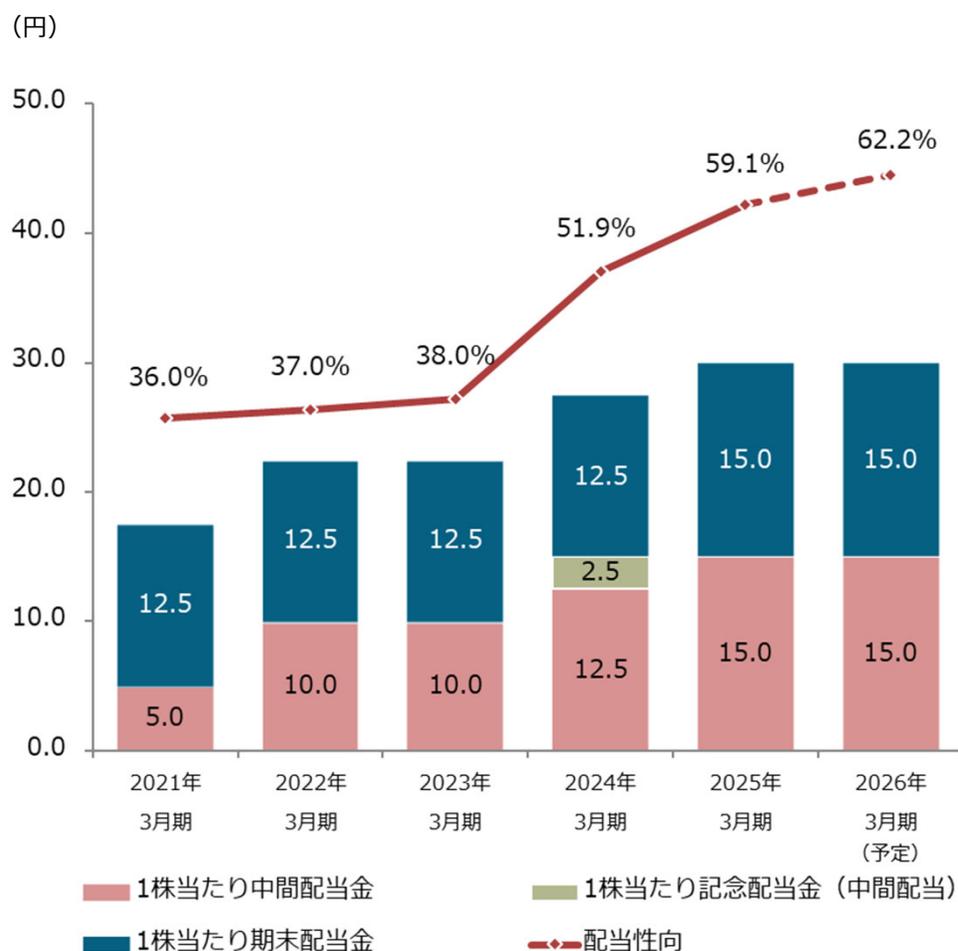
- 米国関税政策の動向により、当社需要先が大きな影響を受けると想定されるが、見通しを合理的に見積もることができないことから、関税問題が発生する前の市況予測での業績予想となる。
- 自動車関連は、認証不正問題等の影響解消により生産増加が期待される。半導体・電子部品関連はAI関連の堅調な需要に加え、在庫調整の一巡により緩やかに伸びていくと予想。しかし、関税問題により先行きは不透明となっている。
- 素材費や人件費を中心としたコスト上昇により製造原価と販管費の増加を見込むため、営業利益、経常利益ともに減益予想。
- 設備投資は、増産のための新規設備導入と継続的な生産設備の更新を実施予定。
- 1株当たり配当金は、中間配当金15.0円、期末配当金15.0円の年間配当金30.0円を予定。

# 第1四半期における進捗状況

(単位：百万円)	2026年3月期				
	1Q実績	上期予想	進捗率	通期予想	進捗率
<b>売上高</b>	2,266	4,800	47.2%	9,680	23.4%
前年同期比	-0.5%	+3.1%		+2.6%	
<b>営業利益</b>	390	920	42.5%	1,740	22.5%
前年同期比	+15.5%	+13.2%		-1.5%	
<b>経常利益</b>	399	920	43.4%	1,750	22.8%
前年同期比	+17.7%	+12.9%		-1.7%	
<b>当期純利益</b>	262	620	42.3%	1,200	21.9%
前年同期比	+18.8%	+9.0%		-5.1%	

# 配当予想（株主還元について）

## 1株当たり配当金と配当性向の推移



※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

## 安定性・継続性に配慮しつつ

### 業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2025年3月期の1株当たり年間配当金は30.0円。  
手元流動性が増加しており、株主還元強化のため増配。  
中間配当金15.0円  
期末配当金15.0円  
業績に対する配当性向は59.1%
- 2026年3月期の1株当たり年間配当金は30.0円を予定。  
中間配当金15.0円  
期末配当金15.0円  
業績予想に対する配当性向は62.2%
- 株主優待  
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、  
1単元（100株）以上を3年以上保有（※）されている  
株主様を対象にオリジナルクオカード2,000円分を贈呈。

※3年以上保有とは、株主名簿基準日（3月31日及び9月30日）の株主名簿に7回以上連続して、同一株主番号で100株以上の保有記録が記載または記録されることをいいます

## 參考資料

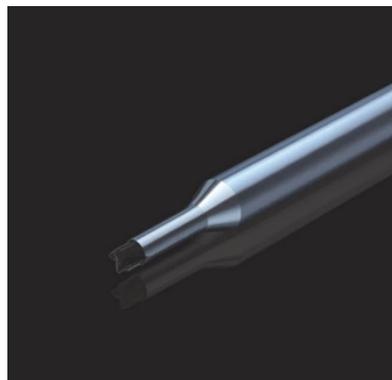


# 新製品① 『SSR400』 / 『SSPB320』

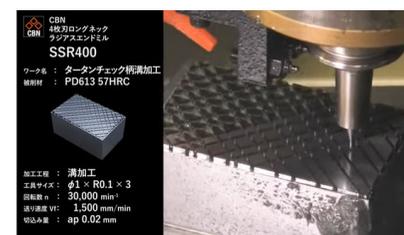
## CBN4枚刃ロングネックラジアスエンドミル

### 『SSR400』 (2025年4月)

- ✓  $\phi 0.1$ では希少な4枚刃仕様、小径サイズながら高速で加工が可能
- ✓ 刃先剛性を高めた工具設計  
⇒高能率加工を実現



### 製品動画



詳細な加工の様子は、二次元コード または  
<https://www.youtube.com/watch?v=0K9VWhiRNSE>  
 より視聴可能です

## CBN3枚刃ロングネックボールエンドミル

### 『SSPB320』 (2025年5月)

- 従来品2枚刃と比較し、
- ✓ 約2倍の切削距離を実現  
⇒使用工具本数削減に貢献
  - ✓ 約60%の時間で加工が可能



### 製品動画

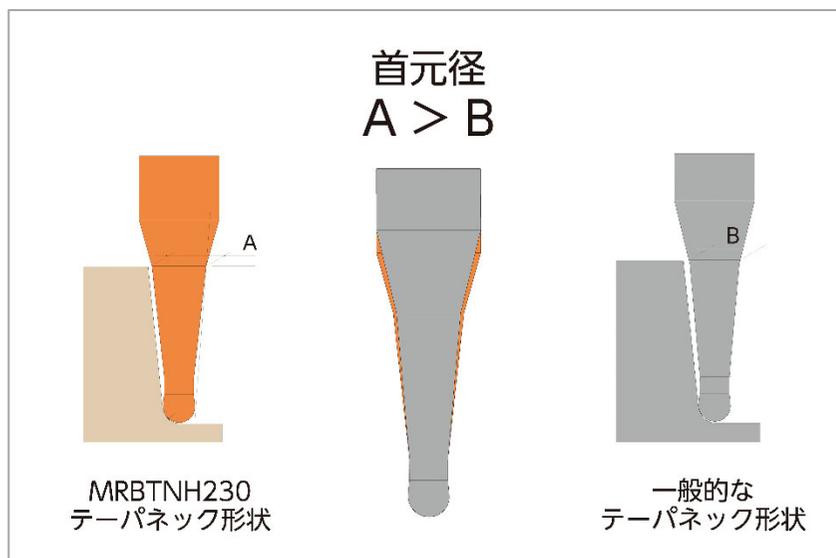
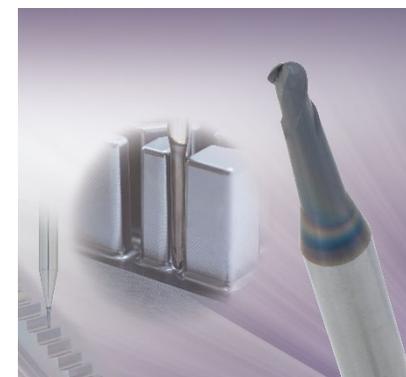


<https://www.youtube.com/watch?v=dOU2Nws0UaY>

## 新製品② 『MRBTNH230』（規格追加）

### 無限コーティングプレミアム ロングテーパネック2枚刃ボールエンドミル 『MRBTNH230』（2025年5月）

- ✓ 27サイズを追加し、全236サイズに拡大
- ✓ テーパーネックかつ、首元径を太くし工具剛性を高め、  
高硬度鋼の切削でも工具の倒れを抑制



#### 加工事例



高精度  
嵌めあいサンプル



高硬度鋼への  
深堀り切削加工

#### 製品動画



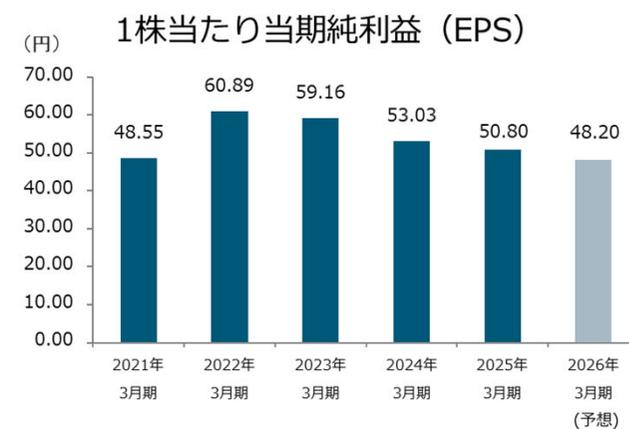
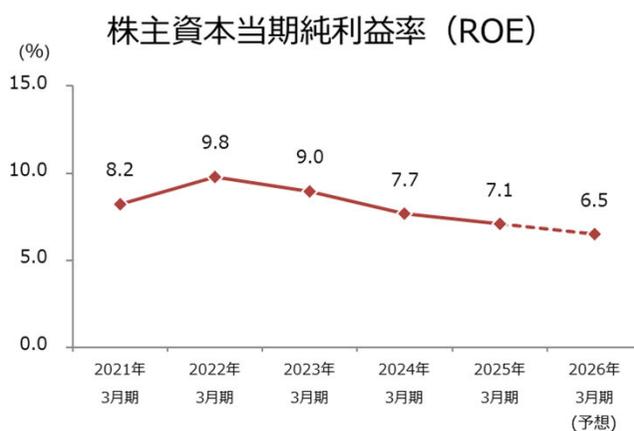
[https://www.youtube.com/watch?v=fcp\\_yUQcfbw](https://www.youtube.com/watch?v=fcp_yUQcfbw)

## 過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期実績
売上高	8,100	9,524	9,656	9,040	9,431
営業利益	1,512	2,111	2,108	1,867	1,767
営業利益率	18.7%	22.2%	21.8%	20.7%	18.7%
経常利益	1,712	2,156	2,131	1,908	1,779
経常利益率	21.1%	22.6%	22.1%	21.1%	18.9%
当期純利益	1,214	1,522	1,475	1,320	1,264
当期純利益率	15.0%	16.0%	15.3%	14.6%	13.4%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	15,326	16,165	17,200	17,729	18,415
総資産額	16,936	17,874	18,857	19,241	19,941
自己資本比率	89.4%	89.2%	90.1%	91.1%	91.4%
設備投資額	462	659	686	563	111
減価償却費	707	692	669	627	644
1株当たり配当金（円）	17.50	22.50	22.50	27.50	30.00
従業員数（人）	339	348	352	350	358

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

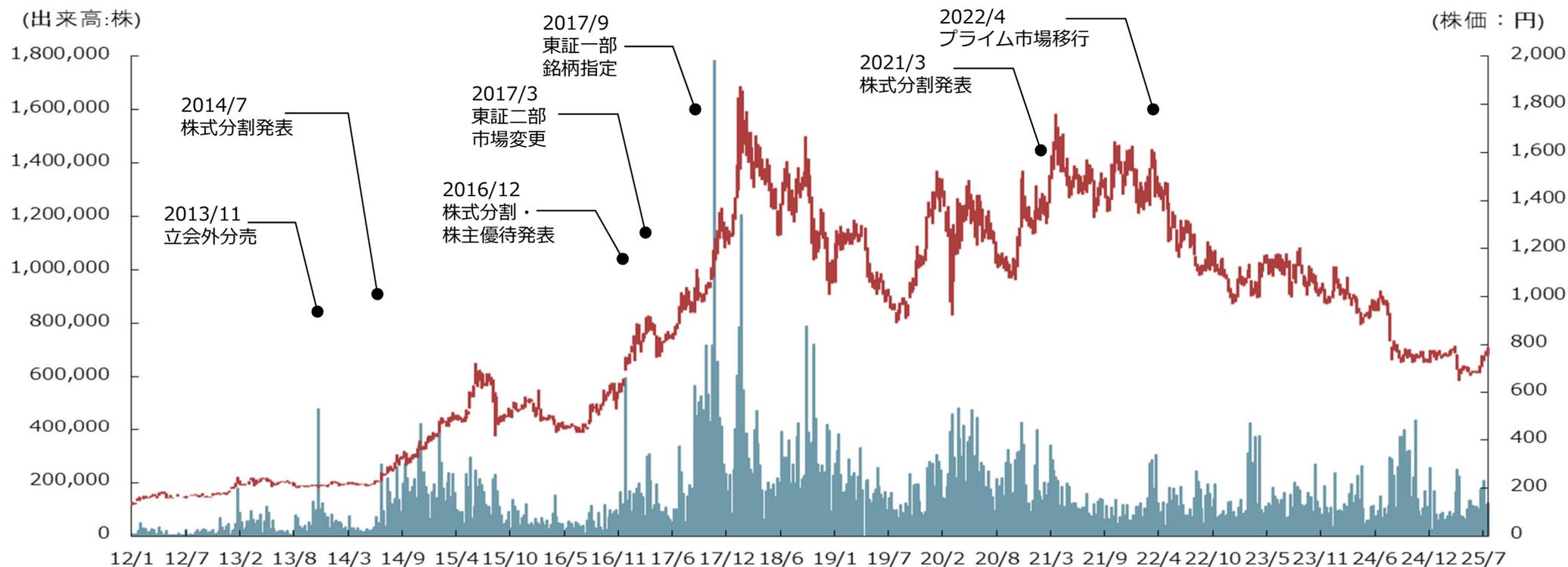
# 投資指標



※ 2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

# 株価推移とバリュエーション

## 週足ベース株価推移（2012年1月～2025年7月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

## バリュエーション（2025年7月28日現在）

売買単位	100株
時価総額	193億円
ROE (25/3期実績)	7.1%

単元株価格	7万7,300円
PER (26/3期予想)	16.04
PBR (25/3期実績)	1.06倍

# IR情報サイト／ニュースメール登録のご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR information website. The top navigation bar includes '製品情報', '事例・技術情報', '会社情報', '採用情報', and 'IR情報' (highlighted in orange). Below the navigation bar, there is a header section for 'Investor Relations' and 'IR情報' with the stock code 'プライム市場 コード：6157'. The main content area is divided into two columns. The left column features sections for 'IRトピックス' and 'IRニュース', each with a list of recent items. The right column contains a 'IR情報' sidebar with a 'IR情報トップ' link and a list of menu items, including 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', '+ 経営方針・体制・コーポレート・ガバナンス', '+ 事業戦略', '+ 業績・財務情報', '+ IRライブラリー', '+ イベント', '+ 株式情報', 'よくあるご質問', 'IRサイトの使い方', 'IR情報サイトマップ', and 'IRニュースメール登録'.

## IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

## メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

## IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>



当社の適時開示情報・IR情報をタイムリーに受け取ることができます。

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

## お問い合わせ

# 日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼管理部長	戸田	覚
管理部	経理課長	佐原	大樹
管理部	I R担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135

FAX : 03-6423-1186

E-mail : [ir@ns-tool.com](mailto:ir@ns-tool.com)

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、  
確約や保証を与えるものではありません。  
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。